

# 警 防 編



## 1. 警防業務の概要

近年、社会経済情勢の変化及び異常気象等により、住民の安全・安心を脅かす自然災害、火災、事故等の災害は大規模化・複雑多様化の傾向を強めています。

このような状況の中、平成29年7月には、福岡県、大分県を中心とする九州北部豪雨が発生し、広い範囲で建物倒壊や地滑り等による甚大な人的・物的被害をもたらしました。この災害においては、福岡県消防相互応援協定に基づき、当消防本部から救助小隊及び警防小隊を延べ28日、135名派遣し、現地にて消防活動を実施しました。

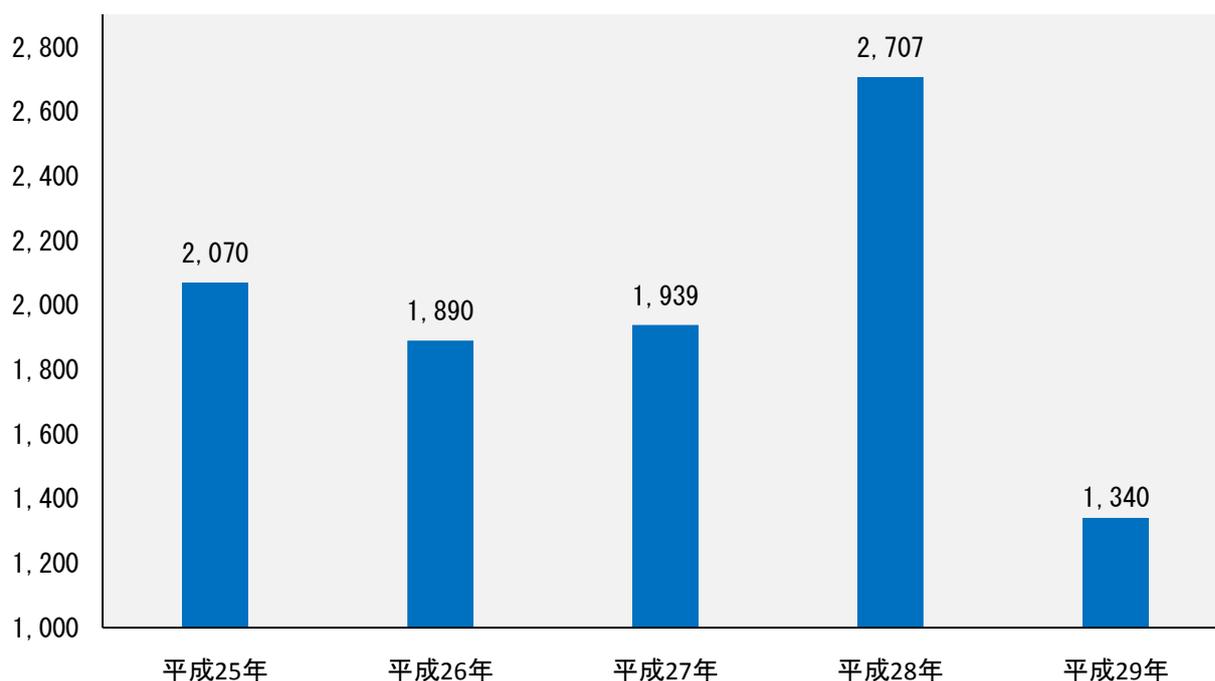
管内においては、7月に大雨特別警報が発表されましたが、大雨・暴風等による人的被害は発生しませんでした。また、年間総雨量は、過去5年間で最低を記録しました。

しかし、多種多様な災害に迅速かつ円滑に対応するため、消防装備、機械等の充実強化及び新鋭化とともに広域的な連携強化にも努めています。

また、災害で活動する隊員は、訓練計画のもと知識及び技術を習得し、各種災害対応能力の向上並びに安全管理の徹底に努めています。

### 過去5年間の雨量

(mm)



2. 消防本部・署所別配置車両

(平成29年12月31日現在)

署所名	号車	年式	車名	メーカー	ポンプ種別	備考	
消防本部	12号	H23	査察車	日産			
	13号	H18	警防調査車	トヨタ			
	14号	H2	資機材搬送車	三菱		2tダンプ	
	15号	H16	事務連絡車	スバル			
	16号	H7	マイクロバス	三菱		定員29名	
	17号	H24	人員搬送車	トヨタ			
	18号	H13	人員搬送車	日産			
筑紫野消防署	本署	救急1	H24	救急車	トヨタ		高規格車
		救急3	H19	非常用救急車	トヨタ		高規格車
		11号	H22	支援車	日野		支援車I型
		20号	H11	指令車	トヨタ		
		21号	H18	現場指揮車	日産		
		22号	H28	ポンプ車	日野	A-II級	CD-I型
		23号	H21	タンク車	日野	A-II級	水-II型
		24号	H27	救助工作車	日野		II型
		25号	H20	はしご車	日野		35m級
		26号	H10	非常用タンク車	日野	A-II級	水-II型
		27号	H9	水槽車	日野	B-III級	10t水槽
		28号	H19	緊急連絡車	スバル		
	29号	H26	事務連絡車	ダイハツ			
	南出張所	救急2	H26	救急車	トヨタ		高規格車
		53号	H25	タンク車	日野	A-II級	水-II型
58号		H10	事務連絡車	ダイハツ			
太宰府消防署	本署	救急5	H24	救急車	トヨタ		高規格車
		救急7	H22	非常用救急車	トヨタ		高規格車
		31号	H25	現場指揮車	日産		
		32号	H20	ポンプ車	三菱	A-II級	CD-II型
		33号	H17	タンク車	日野	A-II級	水-II型
		36号	H6	非常用タンク車	日野	A-II級	水-II型
		38号	H28	事務連絡車	スズキ		
	39号	H23	事務連絡車	三菱			
	東出張所	救急6	H28	救急車	トヨタ		高規格車
		63号	H16	タンク車	日野	A-II級	水-II型
68号		H16	事務連絡車	スバル			

### 3. 車両出動状況

(平成29年)

区 分		火災	救急業務	救助業務	風水害	演習訓練	広報指導	警防調査	原因調査	特別警戒	遭難活動	予防査察	その他	火災誤報	計	
筑	救急車	回数	5	2,456	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2,464
		人員	15	7,540	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	7,564
紫	非常用車	回数	-	62	-	-	5	1	-	-	1	-	-	7	-	76
		人員	-	189	-	-	19	3	-	-	3	-	-	18	-	232
野	支援車	回数	-	-	-	-	9	1	-	-	-	-	-	11	-	21
		人員	-	-	-	-	22	3	-	-	-	-	-	24	-	49
紫	指令車	回数	-	-	12	-	14	7	20	-	-	-	27	10	1	91
		人員	-	-	45	-	47	11	44	-	-	-	56	19	2	224
野	現場指揮車	回数	30	-	41	3	12	2	-	1	-	2	-	179	1	271
		人員	63	-	87	6	28	5	-	2	-	4	-	355	2	552
野	ポンプ車	回数	25	-	9	-	9	78	-	-	3	2	163	400	-	689
		人員	82	-	29	-	29	241	-	-	6	7	527	1,244	-	2,165
消	タンク車	回数	35	-	31	6	25	12	17	3	24	-	-	337	11	501
		人員	121	-	117	20	90	40	58	8	85	-	-	1,126	41	1,706
消	救助工作車	回数	28	-	64	1	23	12	6	1	5	1	-	105	2	248
		人員	95	-	232	4	68	36	12	3	14	4	-	288	6	762
防	はしご車	回数	1	-	-	-	7	5	-	-	1	-	-	65	-	79
		人員	2	-	-	-	20	10	-	-	2	-	-	128	-	162
防	非常用タンク車	回数	4	-	-	-	5	2	-	-	1	-	-	37	-	49
		人員	13	-	-	-	18	8	-	-	4	-	-	94	-	137
署	水槽車	回数	7	-	-	-	13	2	-	-	-	-	-	18	1	41
		人員	14	-	-	-	26	4	-	-	-	-	-	36	2	82
署	緊急連絡車	回数	-	-	9	15	14	18	15	1	1	3	33	53	-	162
		人員	-	-	37	27	35	46	40	2	2	12	66	102	-	369
署	事務連絡車	回数	-	-	-	-	2	8	54	1	-	-	69	100	-	234
		人員	-	-	-	-	8	16	120	2	-	-	127	195	-	468
南出張所	救急車	回数	-	1,309	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	1,337
		人員	-	3,957	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84	-	4,041
南出張所	タンク車	回数	13	-	9	-	16	-	2	-	-	-	1	39	1	81
		人員	39	-	35	-	47	-	6	-	-	-	3	102	2	234
南出張所	事務連絡車	回数	-	-	-	-	10	23	19	-	-	-	28	42	-	122
		人員	-	-	-	-	28	50	53	-	-	-	60	69	-	260
太宰府	救急車	回数	2	2,111	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2,120
		人員	6	6,419	3	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	6,444
太宰府	非常用車	回数	-	58	1	-	1	-	-	-	-	-	-	6	-	66
		人員	-	177	3	-	2	-	-	-	-	-	-	12	-	194
太宰府	現場指揮車	回数	27	-	58	1	4	9	7	-	3	3	-	166	3	281
		人員	58	-	135	2	10	19	17	-	7	10	-	356	6	620
太宰府	ポンプ車	回数	18	-	5	-	16	84	-	-	8	-	102	287	4	524
		人員	62	-	18	-	55	289	-	-	27	-	360	344	13	1,168
太宰府	タンク車	回数	22	-	24	-	23	52	12	4	22	1	3	312	18	493
		人員	87	-	92	-	90	217	43	15	85	5	11	1,184	75	1,904
太宰府	非常用タンク車	回数	5	-	1	-	9	12	-	2	1	-	2	35	1	68
		人員	18	-	3	-	38	35	-	8	4	-	8	101	4	219
太宰府	事務連絡車	回数	-	-	-	1	9	20	51	4	1	-	67	90	-	243
		人員	-	-	-	2	25	38	132	11	3	-	130	144	-	485
太宰府	事務連絡車	回数	-	-	-	-	19	20	44	1	1	-	64	99	-	248
		人員	-	-	-	-	50	34	110	4	4	-	127	145	-	474
東出張所	救急車	回数	1	1,621	7	-	3	-	-	-	-	-	-	32	-	1,664
		人員	3	4,922	22	-	7	-	-	-	-	-	-	92	-	5,046
東出張所	タンク車	回数	13	-	1	-	14	1	1	-	-	-	-	36	1	67
		人員	39	-	4	-	35	2	3	-	-	-	-	89	3	175
東出張所	事務連絡車	回数	-	-	-	-	12	23	21	2	-	-	29	53	-	140
		人員	-	-	-	-	33	38	59	3	-	-	64	102	-	299
合 計		回数	236	7,617	273	27	274	392	269	20	72	12	588	2,556	44	12,380
合 計		人員	717	23,204	862	61	830	1,145	697	58	246	42	1,539	6,478	156	36,035

## 4. 救助器具及び消防用資機材現有状況

(平成29年12月31日現在)

救助用器具及び資機材種別	救助隊	消防隊		
		筑紫野署	太宰府署	
一般救助用器具	かぎ付きはしご(チタン)	2	1	-
	三連はしご	1	5	4
	二連はしご	-	1	1
	ワイヤーはしご	1	-	-
	金属製折りたたみ梯子(9型 8.6)	1	-	-
	空気式救助マット	1	-	-
	救命索発射銃	1	-	-
	救助用縛帯	3	-	-
	平担架	1	-	-
	カラビナ	22	13	9
滑車	4	3	3	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	6	3	-
	可搬式ウインチ	3	1	1
	ワイヤーロープ	11	7	5
	マット型空気ジャッキ(エアマット)	2	-	-
	大型油圧スプレッダー	3	-	-
	救助用支柱(レスキュープロップ)	1	-	-
	チェンブロック	2	-	-
マンホール救助器具	2	-	-	
切断用器具	エンジンカッター	3	-	-
	ガス溶断機	1	-	-
	チェンソー	4	3	2
	ガラスカッター	3	3	4
	空気鋸(エアソー)	2	-	-
	大型油圧切断機	3	-	-
	コンクリート・鉄筋切断用チェンソー(ダイヤモンド)	-	1	-
鉄線カッター	6	5	6	
破壊用器具	万能斧	6	9	7
	ハンマー	2	6	5
	ハンマードリル	2	-	-
	削岩機	2	-	-
	携帯用コンクリート破壊器具(ストライカー)	2	-	-
測定用器具	可燃性ガス測定器	1	2	1
	有毒ガス測定器	6	1	-
	放射線測定器	6	-	-
呼吸保護用器具	空気呼吸器	7	15	14
	送排風機	3	-	-
隊員保護用器具	耐電手袋	4	2	2
	耐電衣	4	1	1
	耐電ズボン	4	1	1
	耐電長靴	4	1	1

救助用器具及び資機材種別		救助隊	消防隊	
			筑紫野署	太宰府署
隊員保護用器具	安全帯	7	-	-
	携帯警報機	5	4	-
	防毒マスク	5	7	-
	陽圧型化学防護服	7	-	-
	放射線防護服	2	-	-
	肘・膝用プロテクター	12	-	-
水難救助用器具	救命胴衣	4	17	14
	救難用アルミボート	1	-	-
	救難用ゴムボート	2	-	-
	水中投光器	5	4	5
	救命浮環	3	-	2
	浮標	1	-	-
	ミニハンマーヘッド	6	-	-
潜水用具（一式）	6	-	-	
山岳救助用器具	山岳救助資器材（一式）	1	-	-
	バスケット担架	1	-	1
その他の救助用器具	携帯投光器	8	10	6
	携帯用拡声器	2	9	6
	投光器一式	3	5	4
	携帯無線	2	8	8
	応急処置用セット	1	1	2
	車両移動器具（ゴージャック1組4台）	2	-	-
	簡易画像探索機	2	-	-
	熱画像直視装置（フリーア）	1	-	-
	落下傘式安全帯	1	-	-
	耐熱服	2	-	-
	発電機	2	-	-
	ポータブルCAFS	1	-	-
	ロックブロック（一式）	5	-	-
	エッジローラー（ロープ保護具）	2	-	-
	エッジプロテクター（ロープ保護具）	2	-	-
	サバイバースリング	1	-	-
	工具箱（一式）	2	5	4
訓練用人形（ダミー）	-	6	2	

## 5. 水利現況

(平成29年12月31日現在)

水利区分		市	筑紫野市	太宰府市	合 計
消 火 栓	口径 1 5 0 m m 以上		611	196	807
	口径 1 5 0 m m 未 満		513	504	1,017
防 火 水 槽	容 量 4 0 ト ン 以 上		362	173	535
	容 量 4 0 ト ン 未 満		103	98	201
プ ー ル			20	13	33
そ の 他			-	1	1

## 6. 月別気象状況 (太宰府消防署調べ)

(平成29年)

区 分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均風向			東	東	東	東	東	東	東南東	東	東	東	東	東
風速 (m/s)	最高		16.0	15.0	17.5	13.4	12.7	15.6	11.2	14.0	11.7	18.3	13.2	17.2
	平均		1.3	1.5	1.1	1.5	1.3	1.1	1.4	1.3	1.0	1.0	1.2	1.4
気温 (°C)	最高		15.4	19.0	19.8	29.3	33.5	31.8	37.3	37.0	33.7	31.0	22.8	15.4
	最低		-2.4	-0.8	2.3	3.4	11.9	14.5	22.3	21.8	15.1	9.1	2.0	-1.2
	平均		6.2	6.9	9.4	16.1	20.7	23.0	28.8	29.0	23.6	19.2	12.3	5.9
湿度 (%)	最高		98.6	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.6	98.3
	最低		42.4	34.4	27.4	15.8	18.8	26.3	53.6	38.6	36.1	43.8	41.3	43.6
	平均		80.2	75.6	73.9	77.4	73.0	78.0	86.3	81.2	84.3	85.8	81.5	78.2
雨量 (mm)	雨量		66.0	50.0	47.0	197.5	69.0	152.0	161.5	139.5	145.0	266.5	31.6	14.5
	1日 最大		28.5	16.0	12.0	83.0	45.5	53.0	79.5	74.5	55.0	51.5	8.0	5.5
	1時間 最大		4.5	5.0	4.0	21.0	9.0	15.5	14.5	49.5	16.5	14.0	5.5	5.5

## 7. 応援協定

大規模な災害が発生した場合の応援体制を確立し、協定市町村相互の消防力を活用して効率的な活動を行い、その被害を最小限度に止めるため、次の応援協定を締結しています。特に広域的なものとして福岡県消防相互応援協定、県境の隣接を対象としての福岡佐賀県境隣接常備消防相互応援協定等があります。

### 消防応援協定の状況

協定名称	協定市町村・消防本部名	締結年月日	締結内容
福岡都市圏市町 消防相互応援協定	福岡都市圏17市町7消防本部	昭和55年3月1日 平成27年12月15日改	火災・救急救助 その他の災害
高速自動車道における 消防相互応援協定	福岡県内インター所在16消防本部	昭和61年10月15日 平成26年9月30日改	火災・事故等
福岡佐賀県境隣接常備 消防相互応援協定	春日・大野城・那珂川消防組合 鳥栖・三養基地区消防事務組合 神崎地区消防事務組合	昭和62年1月1日 平成11年5月1日改	火災・救急・救助 その他の災害
飯塚地区消防組合、筑紫野 太宰府消防組合消防相互 応援協定	飯塚地区消防組合	昭和62年11月1日	火災・地震等
常備消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合	平成21年4月1日	火災・救急・救助 その他の災害
常備消防相互応援協定	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合	平成21年4月1日	火災・救急・救助 その他の災害
福岡県消防相互応援協定	福岡県内60市町村13消防組合	平成元年3月25日 平成23年3月30日改	大規模災害等
福岡・佐賀両県境地域に 係る高速自動車道における 消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合 鳥栖・三養基地区消防事務組合	平成3年10月25日 平成21年4月1日改	火災・事故等